

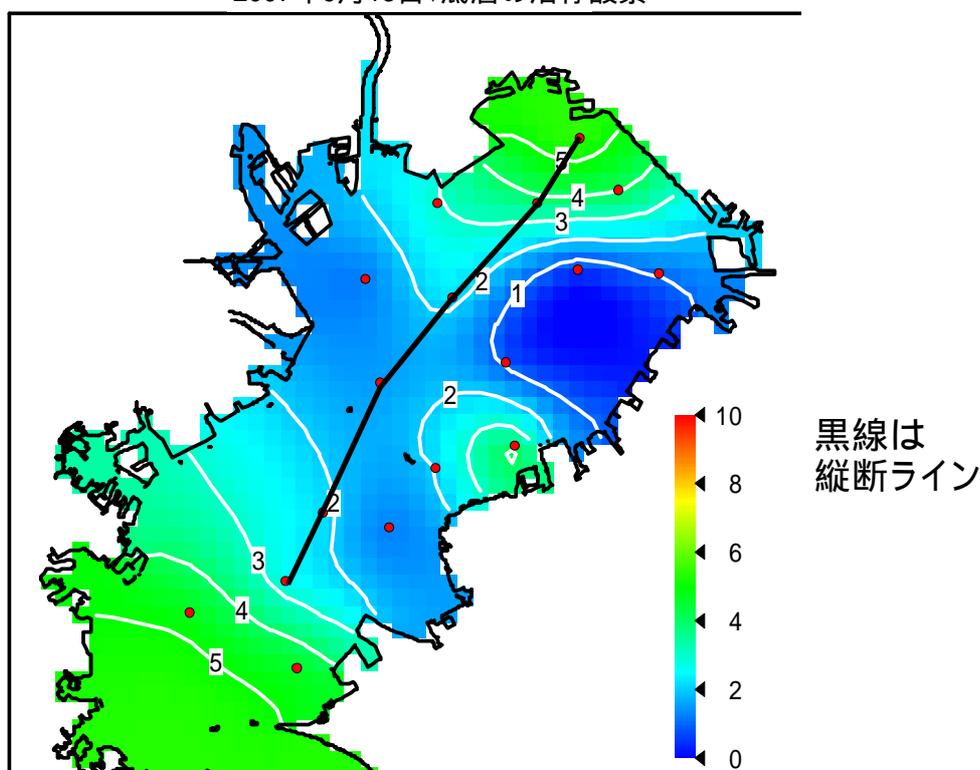
貧酸素水塊速報 (2007年)

千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

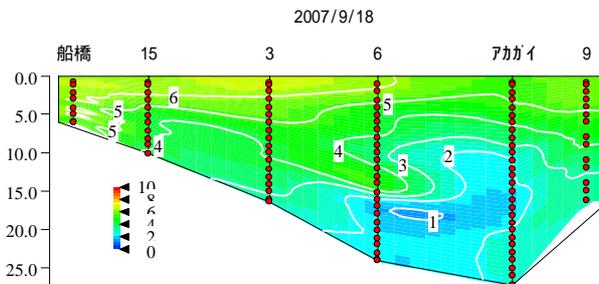
貧酸素水塊は、千葉～市原地先を中心に内湾中央部に広く分布していました。しかし、貧酸素化はそれほど強くなく、深堀部以外では無酸素水塊は認められませんでした。また、湾奥は、9月15日から吹き続けた南寄りの風で表層水が吹き寄せられたため、底層のDOは高くなっていました。湾奥は、水色が褐色、透明度1.5m以下の濃い赤潮でした。出現プランクトンの優占種は検鏡中です。表層の水温は25～27℃でした。9月4日、11日の調査結果とほぼ同じでした。

2007年9月18日:底層の溶存酸素



底層の溶存酸素量分布 (ml/L:速報値)
 平成19年9月18日観測分

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30～40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	



縦断ラインでの酸素量の鉛直分布

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください
 携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ